

たいよう

発行所
太平洋基礎工業(株)
たいよう新聞委員会

最前線レポート

一元請工事竣工

工事名

千音寺土地区画整理に伴う
中川区富田町千音寺地内下
水道築造工事及び

工事場所

名古屋市中川区富田町
千音寺地内

発注者

名古屋市上下水道局技術本部
管路部西部管路センター
下水工事係

受注者

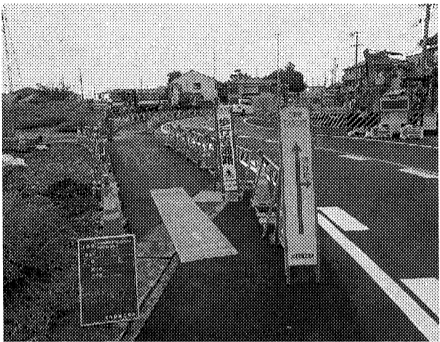
太平洋基礎工業株式会社
名古屋支店

工事数量

管きよ工(推進)
〈管径一三三〇mm〉
一一〇〇mm 四七五・五m
管きよ工(開削)
〈管径一〇〇〇mm〉
三〇〇mm 五七・五m
マンホール工 六箇所
特殊マンホール工 四箇所
取付管及びます工 一式
下水取付管工事 六箇所
既設管撤去
〈管径三〇〇mm〉
三三・四m
既設人孔撤去 二箇所

本工事は千音寺土地区画整理業に伴う面的整備を目的とした合流式管きよを築造する工事です。

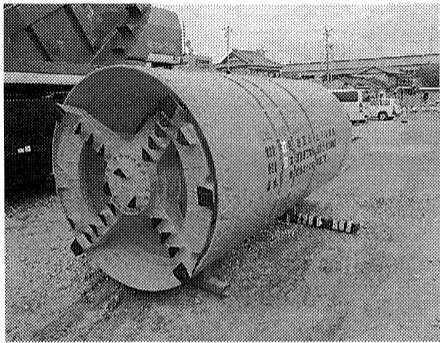
本現場で一番の課題となった点は、J1到達立坑の築造でした。



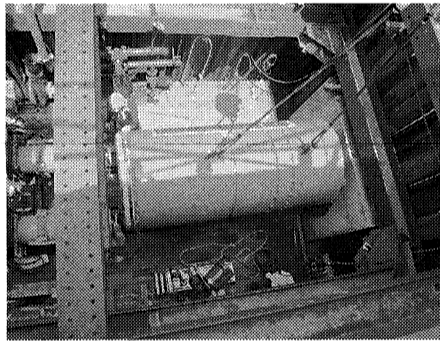
J1到達立坑は、ライナープレート式土留による立坑で、まず六・五mまで立坑掘削を行い本工事の推進工の一三五〇mmを到達させ、再び土被り九・五mにある既設下水道管の六五〇mmを取壊し、一二mまで掘削する工事でした。

そのJ1立坑の北側には重要な既設下水道管の九〇〇mm、南側には既設下水道管の四〇〇mmと既設下水道管の三〇〇mmがあり、立坑掘削を行うための補助工法である薬液注入工と高圧噴射攪拌工が十分に施工できない課題が浮上りました。

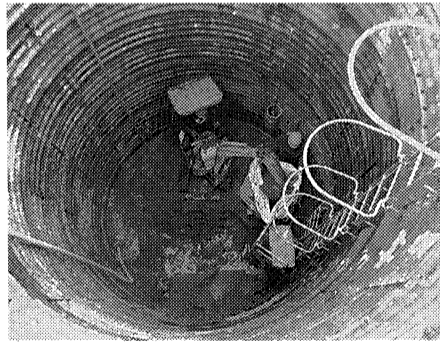
J1立坑築造にあたり、初めに既設下水道管の九〇〇mmと四〇〇mmの地盤改良範囲に鋼矢板の布設を行い、地盤改良における水道管への影響を軽減させました。また地盤改良を行う際の目印にもなりました。次に立坑掘削の障害となる既設下水道管の三〇〇mmの切り回しを行い、土



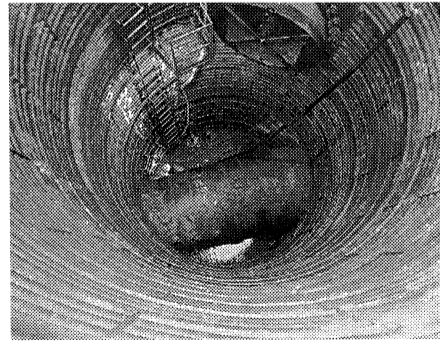
被り九・五mの位置にある既設下水道管の六五〇mmについては、地上から探査ボーリングを行うことで正確な位置を把握して補助地盤改良工の施工位置を決定しました。また補助地盤改良工の高圧噴射攪拌工については当初は揺動型での設計でしたが全周型に変更を行い、工事の安全円滑化に努めました。



立坑掘削においても本工事の推進工の一三五〇mmで到達させた管に蓋をすることで、予期せぬ土砂崩壊が起きた際に到達させた推進管に土砂流入を防ぎました。土被り九・五mの位置の既設下水道管の六五〇mmを取壊し、仮配管を行って床付まで掘削する設計だったので、既設下水道管の六五〇mm



mmの取壊し中に土砂崩壊が発生した場合に重大な災害に繋がる事を想定し、床付け完了後の底盤コンクリート打設後、地山の安定を確認し既設下水道管の六五〇mmの取壊しを行いました。以上の対策を講じて工事は完了を迎えることができました。最後に今回の工事でご協力を頂きました、名古屋市中川区水道局



局西部管路センターの担当者様や、各工事遅延無く無事故で作業頂きました協力業者様に紙面をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

名古屋支店 工事部
主任 北村 晃一

声援

酷暑だった夏が過ぎこの頃では、幾分か過ごし易い季節を迎えるようになりました。この記事が読まれる頃は、第三四半期も終盤に差し掛かり皆様も残り約三ヶ月最後の追い上げに向けて奮闘している事と思います。さて今年を振り返ってみますと「新型コロナウイルス」で私生活においても、業務においても窮屈な思いをした印象です。しかしながら我々が身を置く建設業界は、新規求人数では、前年同月比で約一五%程度の落ち込みにとどまり、飲食・サービス業界での、五〇%を超える落ち込みと比較して、まだまだ恵まれた環境下と言えるのではないのでしょうか。

今期静岡支店開発部の業績は、いづれも前年同月比で住宅地盤改良工事は、約二〇%の落ち込みではあります。他工事を含めた全体の完工率は、九%程の落ち込みです。

ち込みにとどまっています。今期末までに大型案件の完工も見込まれ残り三ヶ月受注に向けて取り戻すつもりです。開発部全社の傾向は、住宅地盤改良工事の受注が下降気味であります。同時に土木分野や中層建築物を対象とした地盤改良工事の受注を伸ばす事を迫られます。社会的にも今までの体制から大きく舵取りを切る時期と受け止めています。従って営業力を上げる事はもちろんですが工事に携わる管理者の意識改革が必要と考えます。当然ながら客先も代わって来ます。今後現場運営をする上で必要な資格の取得や事業者として客先からの要求に出来るスキルも備える必要があります。今一度「プロ意識を持つ」を考えてみてはどうでしょうか。手前は、多々あると思いますがやはり専門書をしっかり読み込み、そして本来の正しい知識を身に付ける事でしょう。例えば経験の浅い職員でも客先からみれば専門業者であり「プロ」なのである。

競争が激しい時期に現場から営業支援に繋がる様に各自意識してはどうでしょうか。

私は、営業も業務として携わっています。私たちは、物を売る営業ではありませんが技術を提供する事と捉えています。まず相手方が何を望んでいるかを考え、色々な方法があります。自社ブランド工法で出来る限り最終的に客先が満足する様に提案して頂きました。この積み重ねが今のお得意様として支えられてきたと思います。今後もお得意様の期待に応えられるように技術を磨く事、工事部門の人も営業も「プロ意識を持つ」です。今期もまだ最終コーナーを抜けた所です。あと三ヶ月しかないのではなくまだ三ヶ月あるとポジティブ思考でゴールを目指しましょう。

静岡支店 開発部
部長 芝田 昭久



共生共遊

共生共遊一〇月号締め切りが迫っていますと原稿の催促があり、ペンを取るフアイトが湧かずどんなものかと考えていたところ、ふと今日十月八日は十と八を合わせた木の日かと。ライフワークとして植樹に関わってきた私にとりましてペンを持つきっかけを得て書いています。

長かった夏が一気に遠ざかり朝夕は肌寒さを感じるこの頃です。春は青葉、若葉で人を和らげ、夏は緑陰で木陰づくり、人を涼する秋から冬にかけて紅葉、黄葉となつて人を癒し落葉となつて冷たい霜や露から木々を守り肥となります。自然の英知、木々の営みに無駄はありません。人も木以上にそれぞれが使命を持つて社会に役立っています。入院中の亡き家内を見舞った折り、ご主人と思われる方の車イスを押す年配の奥様と見受けられるご婦人。今風に言う老々看護。俺たちもそう遠くない内にこうなるかと少しセンチになつていました。車イスに寄り添う様にお孫さんと見られる二人の子供がおじいさん頑張つてねと励ましている。車イスで女房に世話を掛けるくらいなら死んだ方が良くかと思つていた自分だ、そうか生きてる事に価値あるのか、子や孫の為にももう少し生きていなければならぬ。人は木々草花以上に自然に生かされ神仏に生かされていると感じた病院の一幕でした。

詩人八木重吉は詩っています。花はなぜ美しいのか。ひとすじの気持ちで咲いているから。人の命を守る建設業に生きる我らもひとたび工事が始まれば安全で良質な施工で花に負けないひとすじの思いでひたむきに働く。そこに花以上に美しく人々に感動を与えます。我が人生悔いなしとココナに負けず生きて生きて生き抜きましょう。

顧問 豊住 満

事業所だより

一〇月に入り朝夕の気温は下がる傾向にありますが、日中はまだまだ暑さが残り、寒暖差による体調管理に気を付ける時期になりました。

また今年もwithコロナでもあり、暑くてもマスクが手放せません。外出時は常にマスクは必需品です。周りの目もマスクをしていないと、あたかもパノツを穿いていないくらいに厳しい目でみられます。マスクの性能が向上しても、やはりマスクをしなからず外の業務は辛いです。現場作業でのマスクの必要性は各個人の最低限のモラルでの判断で身に着けて頂ければと私は思います。

安倍政権時代から閣議決定していた、GOTOトラベル・GOTOイートが菅政権で実行されました。実行の賛否はありますが、最近の報道番組などでよく耳にするのが、これ以上経済が衰退していくと、失業率が増えそれに伴い自殺者が増加し新型コロナウイルスでの死亡者数を上回るとの査定が出ています。元大阪府知事・橋本徹氏の書籍(橋本語録)でも、『新型コロナウイルスの打撃のためには新薬・ワクチンの開発、それと並んで人類が集団免疫を持つしかない。だから死者をださない範囲で感染がある程度ゆるやかに広がりながら、人類が免疫を獲得していくことは、人類がウイルスに打ち勝つプロセスでもある。』と書かれています。新型コロナウイルスが開発されるまでは、経済を動かしながら新型コロナウイルスと共存しないといけません。新型コロナウイルスに罹らない事に越した事は無いですが、経済を動かした以上、誰がいつ感染してもおかしくありません。今の世論はコロナの陽性反応が出て重症化にならない

- ければ良いじゃないかと少しハドルを下げて経済を優先にしています。
- その事からWHOが発表した最新の新型コロナウイルス情報が話題になっていきます。新型コロナウイルスの感染や重症化の危険因子を挙げて、それに該当する方の注意を促しています。その危険因子として、
- ① 六五歳以上
 - ② 慢性肺疾患
 - ③ 喘息
 - ④ 糖尿病
 - ⑤ 重症心疾患
 - ⑥ 透析中の腎疾患
 - ⑦ 免疫機能の低下
 - ⑧ 肝疾患

などが示されていますが、これらのほかにも重要な危険因子として「肥満」が報告されています。BMI二五以上の肥満者は、BMI二五未満の普通体重の人に比べ、重症化の危険度が、六倍も高いことが示されました。心当たりのある方は今からでも食生活の改善をしてみたらどうでしょうか。何事も健康が一番です。

九州は今年も自然災害に頭を悩まされています。七月・九州全域を襲った豪雨災害。九月・九州を縦断した台風一〇号の上陸とたて続けに起こり、四年前の熊本地震復興が終わりを見せかけていたこの時期に更なる災害が発生しました。特に七月の豪雨災害による熊本県人吉市、八代市の被害は熊本地震と同等の被害で復旧、復興にまた時間、労働を費やす事となるでしょう。今回の七月豪雨で改めて再確認した事は、自然には勝てない、このご時世では『まさか』は起こりえるのだと思えました。

今年には特に暗いニュースばかり続いていた熊本県ですが、やっぱり嬉しいニュースが一つ飛び込んできました。

令和二年一〇月六日(火)、修成建設専門学校様へ会社説明会に行っていました。

昨年度、修成建設専門学校様より社員を迎え、それがご縁で今年度の後期、土木系一年生の皆様にワークショップ授業の中で当社の技術紹介と企業説明をとのご依頼がありました。

コロナ禍でZOOMを用いたプレゼンも検討される中、修成建設専門学校様には、感染予防対策を万全にいろいろご準備頂き、対面でのワークショップ授業を開催して頂き感謝しています。

支店長にもご同行頂き、卒業生である俊朱部員にパワーポイントでも聞かれた事にしか答えられない、インタビュアー泣かせです。相撲会一のネガティブの持ち主が優勝まで至った経緯は、四年前の熊本地震が大きな出来事だったからです。地震前は自分の為に相撲を取っていたが、地震後は勝利する相撲を見せる事で被災者から『元気になる、勇気を貰った』と言葉を頂いてからは、微力でも相撲で故郷に恩返しができると思うようになり、自分の為の相撲道から人(被災者)の為と考えを変え、相撲に取り組み姿勢を改めた事で、今回の初優勝に繋がったそうです。

熊本営業所所属に今年入社四年目の東矢君は正代関の高校の

修成建設専門学校様にて

会社説明会をさせていただきました

環境や当社の事業内容、工事事例を紹介してもらいました。

先ず知って頂きたい当社の経営理念。「働いて良かったといえる職場づくり」「社会に存在価値のある職場づくり」「建設で拓く豊かな都市(まち)づくり」「職域で自己を磨く人こそ建設人」これらのスローガンを紹介し、個を大切に社会に貢献する、まさに今の時代にこそあるべき企業の姿をお伝えできたと思います。

全国に展開する事業所ネットワーク、特殊土木工事等事業・住宅関連工事事業・機械製造販売等事業・再生可能エネルギー

後輩で今回の初優勝に人一倍喜んで頂きます。彼もまた顧客、協力会社からの評判も上々で、仕事に対しての取り組み姿勢は正代関に引けを取らないほど真面目です。本人曰く今はまだ幕下ですが、近い将来当社の大関、更にはもう一つ上の横綱になれる様に日々の業務に格闘していると心強い言葉を頂いています。

早いもので今期も後四カ月です。現状のままでは九州支店は例年通りの負け越しが決定してしまします。ここで何もやらずにただ土俵下に落ちるのではなく、九州支店職員一同で残り少ない取組みに全身全霊で挑み、土俵際の勝負強さを見せ、正代関の得意技である「右四つ、寄り」に習って最後の最後に技を振り勝利し、大金星を決めて勝利の祝杯を挙げたいと思います。

九州支店 熊本営業所
所長 瀬底 正頼

等事業・特許工法など多岐にわたる事業展開をご紹介致しました。

建設業を取り巻く環境としては、政府・民間を合わせた建設投資額は、一九九二年の八四兆円をピークに二〇二〇年度はリフォーム・リニューアル投資を含めて六三兆二七〇億とピーク時の約七五%となっています。建設業就業者数は建設投資の減少に伴い、一九九七年六八五万人をピークに減少が続いていますが、二〇一〇年以降はほぼ横ばいとなっており、ピーク時のおよそ七三%に推移しています。

しかしこの度、土木工学科、建設エンジニア学科の生徒の皆様を前に、専門職を志す若者の眼差しに触れ、建設業の未来は明るいと実感致しました。

これをご縁に建設の未来を、そして太平洋基礎とともに歩んでくれる若者との出会いを願い継続して行っていく所存です。

大阪支店 開発部
部長 松谷 嘉一

総務だより

夏の暑さも過ぎ秋風が吹く爽やかな季節になりました。昼間は涼しく過ごしやすですが、朝晩は冷え込み寒暖差が大きいので風邪をひかないようご自愛ください。

季節が秋に近づくにつれ昼間の時間が短くなり、また外はオレンジ色の夕焼け空かと思えばあつという間に日が落ちて暗くなる時間が早くなりました。本社がある愛知県は交通事故発生が毎年多発する地域です。一〇月から一二月は薄暮時間帯に発生する交通事故が年間でも多く、特に日没後一時間に多発しています。また、歩行者の死者は帰宅時間等で人が多く行き交うこともあり、夕方の五時〜七時の時間帯は昼間と比較して約四倍多く死亡事故が発生しています。そのうち「自動車対歩行者」の事故が多く、ほとんどが「横断中」に発生していると警察庁から発表されています。ドライバー・歩行者双方にとって日没時間が早くなるこの時間帯は「魔の時間」といえます。「魔の時間」である夕暮れ時は、

周囲の視界が徐々に悪くなり、自動車や歩行者、自転車の発見が遅れたり、前方との距離間や速度が分かりにくくなります。ドライバーの方は加害者にならないために暗くなる前から早めのライト点灯を心がけましょう。視認性が低下する夕暮れ時から夜間は、ライトをつけることにより歩行者・自転車などから危険を早期に発見することができ、また前方がよく見えるだけでなく、相手に自車の存在を認識させることができます。

歩行者や自転車利用者はドライバーからみえやすい明るい服装をする、反射材用品を活用し、バッグなどに身に着けて自分の存在を周囲に知らせることでドライバー側にとっては予め認識でき注意を払い走行できます。お互いが認識できる状況を作ることができ、事故に遭遇する可能性は下がります。自身が悲惨な交通事故の被害者、加害者とならないよう「魔の時間」帯の行動には十分に注意しましょう。

管理本部 総務部
李 賢毅

ひとり言

快眠

健康の三大条件と言えは、快眠、快食、快便。始めに快眠について記してみました。

昨晩はお酒の量が多かったのどぐつすり眠れたと言う人は多い。私の場合、お酒の力ですうとしながらテレビを放映したまま夢うつ状態であつたので、深い眠りがないので、朝五時には寝床から離れ朝刊に目を通した後、おふくろと家内の写真が飾られた仏前に今日も健康で安全運転、現場事故災害無し、収益ゲットで雇用を守りたいと念じ、飽きもせずお願いばかりの合掌。きつと欲しているのだからと思いが

・と言う至言が記されていた書があり、よう寝ると猛然と自信がわく。・そこまですべて朝眠りが足りないといふ力の劣えに通じると反省して快眠は健康の三大条件、もう少し酒量を減らし良く寝られる努力をしてみたい。次号は快食、快便を記してみたい。

顧問 豊住 満

共済会だより

☆新しい仲間
十月一日
渡部 靖規
長野支店 新潟営業所